

南アルプス市 平成 25 年度

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 20 日作成

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	
25年度活動実績	高齢者の知識や経験を活かして適正かつ安全な就労の確保。 平成25年度 会員数391名
26年度活動予定	高齢者の知識や経験を活かして適正かつ安全な就労の確保。 平成26年度 会員数 名
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターに登録した会員 	
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター会員の就業 	
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就業の確保による社会参加 ・高齢者の生きがいづくりや、健康増進 	

➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	シルバー人材センター会員	数
イ		
ウ		
➡	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	シルバー人材センター会員	数
イ		
ウ		
➡	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	会員の就業率	数
イ		
ウ		
➡	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	就労確保、社会参加が図られた会員	%
イ	生きがいや健康増進が図られた会員	%

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	財源内訳	国庫支出金 貿易支払金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円						
	事業費	一般財源	千円	13,000	13,544	13,010	12,000	12,000	
	人件費	事業費計 (A)	千円	13,000	13,544	13,010	12,000	12,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	
	人件費	人件費計 (B)	千円	1,365	1,365	1,365	1,365	1,365	0
		(A)+(B)	千円	14,365	14,909	14,375	13,365	13,365	0
活動指標		ア イ ウ	数	456.0	423.0	423.0	423.0	423.0	
対象指標		ア イ ウ	数	456.0	423.0	423.0	423.0	423.0	
成果指標		ア イ ウ	数	456.0	423.0	423.0	423.0	423.0	
上位成果指標		ア イ	%						

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成18年南アルプス市経営指導員等設置費補助金交付要綱による。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか？また、今後の予測は？	現在、市のシルバー人材センターは、公益社団法人を目指して取り組んでいる。これにより、シルバー人材センターの高齢者の社会参加、安全適正な就業の躍進に期待したい。
③ 事務事業に対して関係者（市民、事業対象者、議会等）からどんな意見・要望が寄せられているか？	社会福祉事業に事業介入し、高齢者の社会参加の機会を促してもらいたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 「取り組みしていない⇒【理由】」
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	市緊急雇用対策事業執行においては、県の補助対象事業であるため、シルバー人材センターの活用促進をお願いした。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	県の緊急雇用創出事業に応募提案するように薦めた。

事務事業名	シルバー人材センター支援事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 労働環境を整え、高齢者の就労となるため
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 シルバー人材センターの運営支援事業である。働く意欲のある高齢者の労働環境を整備して、社会参加を支援するため妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 働く意欲のある高齢者の就業の場を確保する支援事業であるため維持・継続は妥当である。既存事業を継続しながら、新しい分野を開拓することが必要がある。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 新たな分野への進出や新規受注先の獲得により会員の就業率を上げることはできる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 高齢者の就業や社会参加は、組織からの情報が必要である <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 シルバー人材センターは、高齢者就業確保、社会参加の役割を果たしているため
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 高齢者の持つ技術や経験などを活かしたシルバー人材センター独自の事業確立、及び新規事業の開拓などにより、自主財源を増やすことにより、事業費を削減できる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 臨時職員対応もしており、また事業の特殊性から、委託先を見つけるのは難しいため。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 働く意欲のある高齢者の就業の場を確保する支援事業であるため公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新しい分野の取組みが必要
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
(2) 改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要
市内事業所に対してシルバー人材センターの業務紹介や営業を行う	
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 紹介パンフレットの作成や継続的な広報	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度
	成果優先度評価結果
	コスト削減優先度評価結果